

各省庁が経理する業務等についての情報

1. 国土交通省の所掌事務

国土交通省は国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全、そのための社会資本の総合的な整備、交通政策の推進、気象業務の健全な発展並びに海上の安全及び治安の確保を図ることを任務とし、この任務を達成するために必要な事務をつかさどる。

2. 国土交通省の会計間の財政資金の流れ

以下のとおり、一般会計から各特別会計への繰入を行っている。

- ① 道路整備、治水、港湾整備、空港整備の各特別会計の事業に要する経費の財源の各特別会計への繰入
- ② 自動車検査登録特別会計における自動車重量税の納付の額の確認等の事務に要する経費の財源の同特別会計への繰入
- ③ 都市開発資金融通特別会計における都市開発資金貸付金の財源の一部に充てるための同特別会計への繰入

3. 歳入歳出決算の概要

(1) 一般会計

① 歳入

平成14年度における国土交通省主管歳入予算額は、57,920百万円であって、その内訳は当初予算額28,641百万円、予算補正追加額29,305百万円、予算補正修正減少額25百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は46,381百万円であって、差引き11,539百万円減少した。

② 歳出

平成14年度における歳出予算現額は9,602,904百万円であって、その内訳は歳出予算額8,458,910百万円（当初予算額7,349,523百万円、予算補正追加額1,356,189百万円、予算補正修正減少額24,047百万円、予算移替増加額46,392百万円、予算移替減少額269,147百万円）、前年度繰越額1,137,902百万円、予備費使用額6,092百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は7,825,103百万円、翌年度繰越額は1,752,207百万円、不用額は25,593百万円である。

(2) 自動車損害賠償保障事業特別会計

① 保障勘定

イ 歳入

平成14年度における歳入予算額は、73,737百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は75,136百万円であって、差引き1,399百万円を増加した。

□ 歳出

平成14年度における歳出予算現額は歳出予算額8,128百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は7,360百万円、不用額は767百万円である。

② 自動車事故対策勘定

イ 歳入

平成14年度における歳入予算額は、17,825百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は17,185百万円であって、差引き639百万円を減少した。

□ 歳出

平成14年度における歳出予算現額は歳出予算額17,825百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は14,563百万円、不用額は3,262百万円である。

③ 保険料等充当交付金勘定

イ 歳入

平成14年度における歳入予算額は、822,904百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は775,930百万円であって、差引き46,973百万円を減少した。

□ 歳出

平成14年度における歳出予算現額は歳出予算額822,904百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は738,980百万円、不用額は83,923百万円である。

(3) 道路整備特別会計

① 歳入

平成14年度における歳入予算額は、4,797,199百万円であって、その内訳は当初予算額4,251,451百万円、予算補正追加額551,360百万円、予算補正修正減少額5,613百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は5,642,239百万円であって、差引き845,039百万円を増加した。

② 歳出

平成14年度における歳出予算現額は6,217,185百万円であって、その内訳は歳出予算額4,797,199百万円（当初予算額4,251,451百万円、予算補正追加額551,360百万円、予算補正修正減少額5,613百万円）、前年度繰越額1,384,297百万円、特別会計予算予算総則第15条第7項の規定による経費増額35,688百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は4,848,882百万円、翌年度繰越額は1,324,388百万円、不用額は43,914百万円である。

(4) 治水特別会計

① 治水勘定

イ 歳入

平成14年度における歳入予算額は、1,467,427百万円であって、その内訳は当初予算額1,157,133百万円、予算補正追加額312,489百万円、予算補正修正減少額2,195百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は1,729,005百万円であって、差引き261,578百万円を増加した。

ロ 歳出

平成14年度における歳出予算現額は2,003,133百万円であって、その内訳は歳出予算額1,467,427百万円（当初予算額1,157,133百万円、予算補正追加額312,489百万円、予算補正修正減少額2,195百万円）、前年度繰越額530,693百万円、特別会計予算予算総則第15条第7項の規定による経費増額5,013百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は1,514,368百万円、翌年度繰越額は474,585百万円、不用額は14,179百万円である。

② 特定多目的ダム建設工事勘定

イ 歳入

平成14年度における歳入予算額は、246,839百万円であって、その内訳は当初予算額219,318百万円、予算補正追加額27,940百万円、予算補正修正減少額419百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は328,307百万円であって、差引き81,467百万円を増加した。

ロ 歳出

平成14年度における歳出予算現額は343,603百万円であって、その内訳は歳出予算額246,839百万円（当初予算額219,318百万円、予算補正追加額27,940百万円、予算補正修正減少額419百万円）、前年度繰越額96,253百万円、特別会計予算予算総則第15条第7項の規定による経費増額509百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は258,646百万円、翌年度繰越額は78,693百万円、不用額は6,263百万円である。

(5) 港湾整備特別会計

① 港湾整備勘定

イ 歳入

平成14年度における歳入予算額は、461,127百万円であって、その内訳は当初予算額398,462百万円、予算補正追加額62,970百万円、予算補正修正減少額305百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は492,043百万円であって、差引き30,915百万円を増加した。

□ 歳出

平成14年度における歳出予算現額は574,856百万円であって、その内訳は歳出予算額461,127百万円（当初予算額398,462百万円、予算補正追加額62,970百万円、予算補正修正減少額305百万円）、前年度繰越額111,421百万円、特別会計予算予算総則第15条第7項の規定による経費増額2,307百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は466,026百万円、翌年度繰越額は102,768百万円、不用額は6,061百万円である。

② 特定港湾施設工事勘定

イ 歳入

平成14年度における歳入予算額は、11,698百万円であって、その内訳は当初予算額11,709百万円、予算補正修正減少額10百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は16,339百万円であって、差引き4,640百万円を増加した。

□ 歳出

平成14年度における歳出予算現額は16,069百万円であって、その内訳は歳出予算額11,698百万円（当初予算額11,709百万円、予算補正修正減少額10百万円）、前年度繰越額4,370百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は15,785百万円、翌年度繰越額は181百万円、不用額は102百万円である。

(6) 自動車検査登録特別会計

① 歳入

平成14年度における歳入予算額は、62,308百万円であって、その内訳は当初予算額62,350百万円、予算補正修正減少額41百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は62,792百万円であって、差引き484百万円を増加した。

② 歳出

平成14年度における歳出予算現額は50,934百万円であって、その内訳は歳出予算額50,053百万円（当初予算額50,095百万円、予算補正修正減少額41百万円）、前年度繰越額880百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は48,519百万円、翌年度繰越額は416百万円、不用額は1,998百万円である。

(7) 都市開発資金融通特別会計

① 歳入

平成14年度における歳入予算額は、105,389百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は119,906百万円であって、差引き14,516百万円を増加した。

② 歳出

平成14年度における歳出予算現額は109,511百万円であって、その内訳は歳出予算額105,389百万円、前年度繰越額3,797百万円、特別会計予算予算総則第15条第8項の規定による経費増額324百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は95,055百万円、翌年度繰越額は4,312百万円、不用額は10,143百万円である。

(8) 空港整備特別会計

① 歳入

平成14年度における歳入予算額は、512,874百万円であって、その内訳は当初予算額457,185百万円、予算補正追加額55,834百万円、予算補正修正減少額145百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は516,356百万円であって、差引き3,481百万円を増加した。

② 歳出

平成14年度における歳出予算現額は561,909百万円であって、その内訳は歳出予算額512,874百万円（当初予算額457,185百万円、予算補正追加額55,834百万円、予算補正修正減少額145百万円）、前年度繰越額49,034百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は478,582百万円、翌年度繰越額は60,935百万円、不用額は22,391百万円である。

国土交通省 組織図

